

第5章 計画の推進

I 計画の推進体制

本計画の推進のためには、地域における保健・医療・福祉・教育など各分野の連携が不可欠です。健康づくりは市民・行政・関係機関・団体が一体となって取り組んでいくことで実現されていきます。

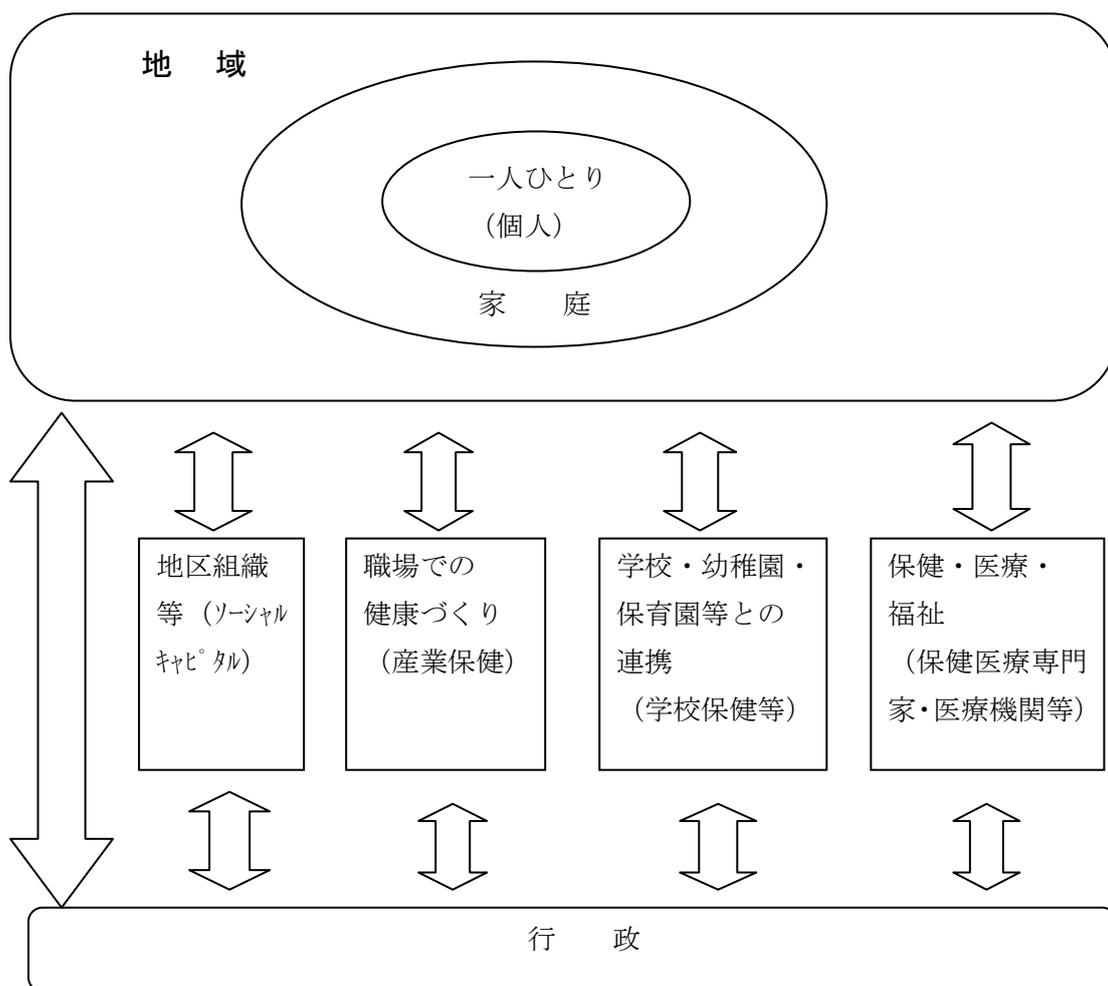
そのためには、健康づくりに関わるマンパワーを確保するとともに、地域で活動する保健協力員・食生活改善推進員会・各健康づくりボランティア等と連携を強化していきます。

また、十和田市生涯健康づくり推進協議会及び各部会で検討・協議を行い、計画目標の着実な達成を図ります。

II 計画の進行管理

本計画は平成 34 年度を見据えた計画です。進捗状況については年度ごとに実施状況を評価するとともに、平成 29 年度には中間評価を実施、必要に応じ計画の見直しを図っていきます。

また、そのためには必要時、地域の健康状態や健康意識などについて調査を行い、計画の達成状況などを考慮したうえで計画に反映させていきます。



参考資料

1 アンケート調査

調査目的

十和田市健康づくり基本計画「健康とわだ21」評価及び「健康とわだ21(第2次)」策定にあたり、その基礎資料として活用する事を目的にアンケート調査を実施しました。

(1) 健診受診者・未受診者と事業所アンケートの概要

		十和田市			
		健診受診者	健診未受診者	市内事業所勤務者	
調査対象	右記参照	平成23年度健診申し込み者のうち、下記調査期間の健診対象者	平成24年4月時点で22～84歳の過去3年間健診未受診者	平成14年度1次計画策定時に調査協力頂いた市内7事業所従業員	
調査方法	右記参照	郵送後面接回収	調査員(保健協力員)による訪問配布と回収	各事業所へ訪問配布と回収	
調査期間	右記参照	平成23年 6月20日～9月7日	平成24年 5月1日～6月15日	平成23年 10月14日～10月31日	
配布数	—	1,149 人	1,109 人	7事業所	
回収数	2,365 人	975 人	924 人	466 人	
回収率	—	84.9 %	83.3 %	—	
有効回答数	総数	1,572 人	総数 722 人	総数 503 人	総数 347 人
	男性	809 人	男性 282 人	男性 293 人	男性 234 人
	女性	763 人	女性 440 人	女性 210 人	女性 113 人
有効回答率	—	62.8 %	45.4 %	—	

(2) 平成23年度職場の受動喫煙防止対策等アンケートの概要

調査対象 : 平成14年度にアンケートを依頼した5人以上雇用する市内事業所150か所のうち、平成24年2月時点で経営している事業所132か所

調査方法 : 郵送による配布と回収

調査期間 : 平成24年3月1日～3月30日

回収数 : 95事業所

回収率 : 72.0%

(3) 平成23年度地域医療に関するアンケートの概要

調査対象 : 市内7医療機関に受診している患者、9関係団体に所属している人、市役所窓口来所者、乳幼児健診来所者

調査方法 : 訪問配付と回収

調査機関 : 平成24年1月16日～1月31日

配付数 : 1030人

回収数 : 926人

回収率 : 89.9%

2 平成23年度各種健診受診者数

	総数		
		男性	女性
特定健康診査	4,391 人	1,817 人	2,574 人
特定健康診査(後期高齢者)	1,337 人	593 人	744 人
胃がん検診	4,525 人	1,882 人	2,643 人
肺がん検診	6,176 人	2,489 人	3,687 人
大腸がん検診	6,723 人	2,681 人	4,042 人
子宮頸がん検診	2,240 人		2,240 人
乳がん検診	2,239 人		2,239 人

3 平成23年度国民健康保険加入者数

人口	国保世帯数	加入者数	性別内訳	
			男性	女性
65,787 人	11,987 世帯	21,796 人	10,746 人	11,050 人

※平成23年5月31日現在

4 平成23年度母親教室歯科検診

受診者数	87 人
------	------

5 平成23年度乳児家庭等全戸訪問スクリーニング

実施者数	392 人
------	-------

※アンケート対象:産婦

6 平成23年度各乳幼児健康診査

	受診児数	母問診記入数
4か月児健康診査	418 人	418 人
1歳6か月児健康診査	478 人	472 人
2歳6か月児健康診査	396 人	390 人
3歳6か月児健康診査	502 人	499 人

【用語解説】

・受動喫煙

たばこを吸わない人が、いろいろな場所で、自分の意志とは関係なくたばこの煙を吸わされていること。

・職域保健

職業や職務の範囲とした保健活動。

・生活習慣病のリスクを高める飲酒量

国内外の研究結果からは、がん、高血圧、脳出血、脂質異常症などの生活習慣病は飲酒量と関係していることが分かっています。

「健康日本21(第2次)」では、生活習慣病のリスクを高める飲酒量を1日当たりの平均純アルコールの摂取量が男性40g以上、女性20g以上としています。

・エジンバラ産後うつスクリーニング

産後のうつ状態を定量的に評価するために開発された自己記入式の簡易的アンケートのこと。10項目の質問で構成され、各項目4段階(0~3点)で点数化し、合計30点中9点以上をうつ病の可能性が高いとして選別する。

参考資料 2

1、アンケート調査

調査目的：

十和田市健康づくり基本計画「第2次健康とわだ21」の基礎資料として実態把握のために、アンケート調査を実施しました。

調査対象： 無作為抽出された、市内の18歳以上の男女1080人

調査方法： 調査員(保健協力員)による訪問配布と回収(訪問留置法)

調査期間： 平成25年5月21日～7月5日

配布数： 1,080人

回収数： 939人

回収率： 86.9%

有効回答数： 676件(男性 313人、女性 363人)

有効回答率： 62.6%

※ アンケート内容は次ページ参照

2、用語解説

・気分障害

気分が沈んだり、高ぶる等の気分の変調により苦痛を感じたり、日常生活に何らかの支障をきたしたりする状態のことをいいます。うつ病や躁うつ病に代表される症状の一つです。

・不安障害

不安が強く、行動や心理的障害をもたらす症状を総称して不安障害と呼びます。精神症状として強い不安、イライラ感、恐怖感、緊張感が現れるほか、発汗、動悸、頻脈、胸痛、頭痛、下痢などといった身体症状として現れる事があります。

・障害

個人の精神、身体における一定の機能が、比較的恒久的に低下している状態をいいます。